



関西学院同窓会本部銀座オフィス

KG ソレイユの会 第4回講演会（5月28日）のご案内

今年度のKG ソレイユの会の講演会は、明治以降の様々な困難を乗り越えてきた女性の歴史を振り返り、現在もお大変な社会状況の中で働く、KG 女性へのエンパワーメントになればとの思いで、企画いたしました。

今回の講演会は、第17代関西学院院長、現在は関西学院大学経済学部教授・宗教主事の舟木讓先生がご登壇、「草創期の歴史、大学昇格時の学生らの働きをお伝えし、関西学院のアイデンティティを今一度、共有しましょう」とのお言葉をいただきました。

第二部では、「働く世代のKG 女性の声を伝える」として、第一回のKG 女性は、ANA 全日本空輸株式会社にお勤めのお二人をZOOMでご参加の上、お話いただきます。

日時 : 5月28日（土曜日） 第一部 14:00～15:00、第二部 15:05～16:00

会場 : 銀座オフィスでのリアル（30名限定）

参加方法 : お申し込みは[こちらのGoogle フォーム](#)からお願いいたします。

先着順で受け付け、定員に達し次第、受付終了いたします。

参加費 : 無料（どなたでもお申し込みいただけます。*女性限定ではありません）

第一部【演題】「『大学昇格』90周年を迎えて—関西学院が紡いできた宝を振り返る」

【講師】関西学院大学経済学部教授・宗教主事 舟木讓先生

プロフィール : 1961年京都市生まれ。関西学院大学大学院神学研究科博士課程前期課程修了。日本基督教団、京都御幸町教会、同神戸栄光協会担任教師を経て、1998年4月より関西学院大学経済学部教員・宗教主事。2010年度にコペンハーゲン大学研究員として留学、関西学院大学人権教育研究室副室長、同室長、関西学院院長補佐、同千刈キャンパス所長、関西学院大学大学宗教主事、同学院史編纂室長、関西学院宗教総主事、同会館館長を経て2019年4月より2022年3月まで第17代院長を務める。

著訳書 : 『暴力を考える キリスト教の視点から』（共著、関西学院大学出版会2005年）『キェルケゴールとキリスト教神学の展望—＜人間が壊れる＞時代の中で—』（共著、関西学院大学出版会2006年）、『愛を考える—キリスト教の視点から—』（共著、関西学院大学出版会2007年）、『国際人権百科事典』（共監訳、明石書店2007年）、『キリスト教平和学事典』（共編著、教文館2009年）、『現代文化とキリスト教』（共著、キリスト教新聞社2016年）

第二部

1) 「関西学院と女子学生—女子教育の歴史的背景」（関西学院史紀要第四号 仲原晶子教授の論文）と「早稲田の女子学生—今昔物語 since1921—」（早稲田大学歴史館春季企画展）の興味深い内容を工藤代表が紹介いたします。

2) 第一回「働く世代のKG 女性のご紹介」

・中島優里さん（2002年文学部卒） ・杉谷かおるさん（2006年総合政策学部卒）

ともに、ANA 全日本空輸株式会社のCAで2児の母です。

航空業界を取り巻く厳しい環境の中、現在の働き方と、自分らしいキャリアをどのように

切り拓いていっているのか？また、子育て中で忙しい中、ソレイユの会での活動に参加してくださる関学への思い、アイデンティティをお話していただきます。

3) クロストーク「今の学生に伝えたいこと、社会人メンターとしての同窓生の役割を考える」

舟木先生、中島さん、杉谷さん、中山 KG ソレイユの会副代表

4) 次回6月17日のセミナーのご案内と今後の講演会、活動についてのお知らせ

以上